

令和5年度 第1回南部町総合教育会議 議事録

- 1 開催日時 令和5年7月31日（月） 午前10時00分 開会
午前11時45分 閉会
- 2 開催場所 南部町役場本庁舎 2階 大会議室
- 3 出席者
・町長 佐野 和広 ・教育長 入月 一巳 ・教育長職務代理者 望月 正宏
・教育委員 山本 純司 ・教育委員 望月 聡美 ・教育委員 渡邊 正志
- 4 事務局等の出席者
町長部局 秘書政策監 滝 基成 総務課長 渡辺 雄治
教育委員会事務局 学校教育課長 若林 将基 生涯学習課長 遠藤 賢
- 5 協議事項
(1) 令和5年度の取組方針について（教育委員会・学校教育課・生涯学習課）
(2) 令和5年度南部町教育支援センター事業について
(3) 南部地区の小学校適正配置について
(4) その他
- 6 議事経過の概要
次のとおり

1 開 会（望月正宏教育長職務代理者）

皆さん、おはようございます。猛暑日が続いていますが、本日は総合教育会議に出席いただきありがとうございます。コロナが5類に移行し、行動制限も緩和され平常に戻りつつあります。町内に目を向けると、色々な事業が生涯学習課において活発に行われています。学校教育は、学習指導要領の改訂の項目であった、集団を通して対話的主体的な学びについて、少しずつ行われています。本日は、重要な議題がありますので、子供たちや地域の将来を見据えて、皆さんの忌憚のない考えが聞かれることを期待します。本日は、宜しくお願いします。

2 町長あいさつ

おはようございます。町内に目を向けますと南部の火祭りに向かって職員を中心に毎日準備をしています。全国の夏祭りもコロナが明けて賑わっていますが、火祭りにもたくさんの観光客が来ることが予想されます。山梨県では高校スポーツにおいても、高校野球や高校バスケットなど輝かしい成績を収めていますが、町内においても南部中男子バレー部が総体で優勝し明るい話題を提供してくれました。本日は、より良い教育を行うためにご意見を願います。

3 教育長あいさつ

皆さん、おはようございます。大変お忙しい中を本日はありがとうございます。今、町長の話にもありましたように、南部中男子バレー部が優勝し、今日、この会議の後優

勝報告に来庁することになっています。また、青森南部交流会を開催しましたが、今日の議題にもありますように、ふるさと教育そのものであります。参加した児童は、自分たちの町を認識しながら、青森南部町の歴史や文化を見ることによってまた、自分たちの町を知ることにつながっていくことになることを強く感じました。30名の参加した児童は、今後成長していく中で、ふるさと南部町をより強く感じてくれると思います。交流会の中で、町の紹介を児童が行ったが、その中であいさつ日本一の町を目指して取り組んでいることを紹介し、取り組みが子供たちにも浸透してきていることを感じました。この会議は、今年で9年目になりますが、いままでも出席者が自由活発に有意義な会議を行ってきました。本日も充実した会議になるようお願いしたいと思います。人づくりを通して町づくり、更なる高みを目指して、一流の田舎町を目指して、みんなで南部町を盛り上げていくことが出来たらと思っています。本日も宜しく申し上げます。

4 議事

【議事に入る前に町長より提案がありました。】

(町長) 一般社団法人山梨県消費者市民社会推進協議会が来庁され、災害等に関する講演事業を行っているので、南部町でも実施してほしい旨の申し出がありました。9月の総合防災訓練には中学生の自主防災組織が各区の活動に参加すると思いますが、もっと意識を高めてほしいので、中学生を対象に実施を検討していただきたいと思います。

(望月(聡)委員) 先日、睦合小学校での防災研修会に参加するなかで起震車を体験しました。子供と家庭に帰ってからも地震について話をするなど、防災について意識が高まりました。中学校においても実施できればいいと思います。

(望月(正)委員) 自分が南部中へ勤務した頃は、3年サイクルで起震車、煙幕、救急救命法を実施していたが、大変いい研修でありました。

(町長) 今回は、協議会の職員が、被災地支援の映像など持っているので、それらをもとに研修を行うことになると思います。

(山本委員) 中学校では自主防災組織をつくり活動しているが、防災の基本は家庭の防災力だと思います。家族で防災対応について話し合っていないと、中学校でいくら行っても、力が付いていない子供にやらせるだけになってしまうので、家庭内でも防災について取り組むことが必要だと思います。また地域にも要援助者がどこにいるか把握するなど、子供たちが自主防災組織にどう関与していくかを考える必要があります。そのためには、提案のあった研修で意識づけをしながらも、ベースになる確認事項やチェック事項がさらに必要だと思います。

(町長) 子供の時から、地震や防災についての意識づけが必要だと思う。今後、学校の教員と実施について検討してほしい。

(教育長) 毎月行っている学校管理職会議で提案し検討します。

(1) 令和5年度の取組方針について (教育委員会・学校教育課・生涯学習課)

【教育委員会の取組方針については教育長、学校教育課の取組方針については学校教育課長、生涯学習課の取り組みは生涯学習課長から説明しました。】

(2) 令和5年度南部町教室支援センターの事業について

【教室支援センターの事業について、学校教育課長が資料により説明しました。】

(山本委員) 青少年育成南部町民会議において、取り組み状況を3小学校でまとめて報告があったが、各校で個別に報告する方が適切だったと思う。教育委員会方針等にもあったコミュニティスクール等を考慮すると、各学校で一学期の様子を話しながら、地域や各種団体に夏休みの子供たちのお願いをするようなことが良いのではないか。また、そういう意味では学校運営協議会委員も一員になった方が良いと思います。

(教育長) これからの子供たちを考えた時に大切な組織だと思うが、出席者の少ないなど、もっと有効に運営されるように、生涯学習課で検討していきます。

(望月(正)委員) 各校の学校だよりで、夏休みの生活について特集的に掲載し町内に回覧することも良いと思います。

(渡邊委員) 他の委員の意見と同じように、各学校の固有な取り組みもあるので、個別に町民会議で報告することがふさわしいと思います

(3) 南部地区の小学校適正配置について

【南部地区の適正配置について令和5年3月からのこれまでの経過を説明しました。また、4回開催した説明会について、実施状況及び質疑内容について説明しました。各説明会で挙げられた質問は次のとおりであり、回答は各会議録に掲載しホームページに掲載のとおりです。また、今後実施を予定しているアンケート調査の対象、内容、スケジュールを説明しました。】

- ・井出、十島地区の児童の通学区域の考え方について
- ・放課後児童保育の充実について
- ・統合年度が前倒しされる可能性について
- ・富沢小学校のスクールバスの運行方法について
- ・栄小学校区の保護者、住民の反応について
- ・人口減少に伴う町内小学校1校の検討について
- ・空き学校の用途変更及びスケジュールについて
- ・内船地区の避難施設と空き学校の利用について

(町長) 統合については、説明のとおり進めてもらえば良いと思います。

(町長) 適正配置以外の件ですが、町の教育支援センターは平成26年度から設置しており、多くの事業を実施しているので、町民にセンターの事業内容を広報していただきたいと思います。

(教育長) 町長が言われたように教育支援センターの存在意義は大きく、支えられています。

(望月(正)委員) 先日出席した市町村教育委員会連合会の会議の中で、県職員から全国に不登校関連校は経費も掛かるため数も少なく、そのため各市町村に教育支援センターが設置されていることは非常にありがたいという話をしていました。支援センターにいて感じるのは、不登校生徒がセンター内のチャレンジ教室で学習し、高校進学をしていることが非常に大きい成果であると思います。学校に通学し対話的な学びをすることも大切であるが、それが難しい生徒たちになるので、最低限の学力をつけることが必要だと思います。進学は就職にも繋がっていきます。それらの内容についても知らない親も多いと思います。

(山本委員) 先日、峡南地域教育推進連絡協議会において特別支援学級についての講演を聞いて感じましたが、精神的障害や病弱の子供のうち、心の中のことを表現できない子供が増えてきていると思います。その子たちはどのように成長を高めていくかを考えると、やはり学校の中では大変であります。本町の教育支援センターでは 4 人の職員が所属しますが、職員が連携しながら進めていくことも大切なことであります。一方、歴史資料室では町の歴史的資産を拾い上げて、また広げていくことをしていますが、そのように文化的な側面と教育的な側面を共に大事にしていることは、他町では考えられないことであります。これらの成果は直ちに出るものではないが、地道に続けることによっていろんな成果が形になってくると思います。

(事務局) いただいた意見をもとに、センターの広報方法等を検討します。

(4) その他

特になし

5 閉 会 (山本委員)

お疲れ様でした。先日見た番組で、アフターコロナの弊害として、人に会うことが辛くなった人が増えていると言っていました。人に会うこと、人とつながりを持つことが、やはり人としての生き方であると思いました。互いの思いを交流することが、人間の良さであり、社会が成り立っていくのだらうと思えます。今進めている、あいさつ運動は、その先にいったい何があるんだということを求めながら、進めて行くことが大切だと思いますし、子供たちにも、あいさつはとても大事なんだ、なぜ大事なんだ、ということを学んでいってほしいと思いました。以上で南部町総合教育会議を終わります。お疲れ様でした。

以上